

## 令和8年6月定例会市議会市政報告

令和8年第3回釧路市議会6月定例会の開会にあたり、2月定例会以降の市政の概要についてご報告申し上げます。

最初の報告は、「くしろ市民応援クーポン」についてであります。

当市における物価高騰対策として、市内の登録店舗で使用できる1人1万円の電子クーポンを世帯ごとに配付することにより、消費を通じて地域経済の活性化を図ってまいります。

この電子クーポン配付につきまして、広報くしろ6月号へ掲載のとおり、各世帯へ6月14日までに圧着ハガキを送付、6月16日から利用開始といたします。

利用方法については、届いたハガキでそのまま利用が可能であり、登録店舗が読み込むことで決済が完了します。併せて、スマートフォンなどの専用アプリでも使うことができるよう準備を進めており、市民の皆様が安心してご利用いただけるよう取り組んでまいります。

報告の第2は、「大韓航空による国際チャーター便の就航」についてであります。

本年6月2日、大韓航空によるチャーター便の運航が決定いたしました。

これまで、市は北海道エアポート株式会社、北海道、その他関係者とともに、大韓航空のチャーター便就航に向けてセールス活動を展開してきたところであり、これにより、令和元年以来となる韓国・仁川（インチョン）空港発、たんちょう釧路空港着の便が、7月15日（水）から8月1日（土）にかけて、計6往復運航されます。

今回のチャーター便就航により、当地域におけるインバウンド観光の本格的な回復に向けて、宿泊、飲食、小売など、幅広い分野への経済波及効果が期待される所でございます。

さらに、この運航実績を確かな足掛かりとして、新たなチャーター便の誘致や、将来的な国際定期便の就航に向け、北海道や関係市町村、民間事業者等と一体となって、継続的なプロモーション活動に取り組んでまいります。

報告の第3は、「台北市立動物園におけるタンチョウのひな誕生」についてであります。

本年4月20日、釧路市動物園から台北市立動物園へ無償貸与しておりますタンチョウ「ビッグ」と「キカ」の間に、2羽目となるひなが誕生いたしました。

「ビッグ」と「キカ」は、2011年より、タンチョウの生息域外保全及び学术交流を目的として、台北市立動物園へ貸与しているものであります。

両個体の間では、2022年に初めてとなるひな「リーホー」が誕生しており、今回は4年ぶり2例目の繁殖成功となります。

釧路の地から海を越えて渡ったタンチョウが、台北市立動物園において細やかな飼

育管理のもとで新たな命をつないでいることは、タンチョウ保護の観点からも大変意義深いものであり、長年にわたり繁殖に尽力されている台北市立動物園関係者の皆様に、深く敬意を表するものです。

現在、ひなは親鳥に見守られながら元気にすくすくと成長しているとのことで、台北市立動物園では、来園される皆さんにも静かに温かく見守っていただきながら、大切に育てられています。

今後とも台北市立動物園をはじめとする関係機関との連携を深めながら、タンチョウの保護・繁殖及び生物多様性保全の取り組みを推進してまいります。

報告の第4は、「令和7年度各会計の決算状況」についてであります。はじめに、一般会計につきましては、歳入総額約1,060億2,000万円、歳出総額約1,058億9,000万円となり、形式収支は約1億3,000万円の黒字となったところであります。

これは、歳入で、各種事業の執行に伴う国庫支出金や市債など、繰越明許費を含めて約100億3,000万円の収入不足となったものの、歳出において、扶助費の減並びに工事契約差金や経費の節減などによる執行残が、繰越明許費を含め、収入不足分を上回る約101億6,000万円となったことによるものであります。

決算剰余金のうち、繰越明許費に充当する一般財源約3,000万円と、今後の補正財源として約5,000万円を次年度へ繰り越すとともに、5,000万円を財政調整基金へ積み立てたところであります。

しかしながら、この実質収支の黒字分は、予算措置いたしました減債基金繰入金約31億9,000万円のうち、3億円を繰り入れることにより確保できたものです。決算時の基金繰入れにより収支不足を補ったのは、平成29年度決算以来でありますことから、全庁が一丸となって、引き続き事務事業の見直しなど収支改善に取り組んでいかなければならないと考えております。

特別会計につきましては、国民健康保険特別会計で、保険料収入が予算を上回ったことなどから、約1億円の剰余金が生じたので、国民健康保険事業運営基金に積立てをいたします。

介護保険特別会計の保険事業勘定では、保険給付費が予算を下回ったことなどから、約3億8,000万円の剰余金が生じたので、介護給付費準備基金に積立てをいたします。

駐車場事業会計では、使用料収入が予算を上回ったことなどから、約1,000万円の剰余金が生じたので、駐車場整備基金に積立てをいたします。

国民健康保険阿寒診療所事業特別会計ほか、他の特別会計につきましては、概ね収支均衡する見込みとなっております。

報告の第5は、「工事発注状況」についてであります。

5月31日現在、本年度の建設事業の発注予定額は、約116億1,000万円となっており、発注済額は約40億8,000万円であり、発注率はおよそ35%となっております。

ます。

このうち、地元企業への発注は、金額で約 39 億 1,000 万円、率ではおよそ 95% であります。

今後とも地域経済の動向を念頭に置き、工事の早期発注に努めてまいります。

以上で、市政報告を終わります。